

EuroShop



Euro リテール NEWS 2014 年 3 号

欧州は、ウクライナとロシアの抗争の影響から免れられない状況になりました…ロシアに輸出する企業の中には、売上の減少を経験していることもあり、ロシアの資源への依存を削減するようにいろいろな考慮もされています。ドイツでは、メルケル首相が 60 歳の誕生日を祝い、多くの人々が祝福しました。彼女は経済対策よりも対外政策に重点を置く印象があるかも知れませんが、ドイツの政治家の中では疑いなく一番権威が高いと言えます。

そのような背景の中から、欧州リテール NEWS 2014 年 3 号をお届けします。テーマは、

- * [業界トレンドとして、ショッピングセンターのロケーション変更、ネット販売=マルチ・チャンネルコンセプト、繊維産業におけるサステナビリティの新定義](#)
- * [産業・企業ニュースとして、Sainsbury`s と Netto の合併会社、Tesco 社の人事](#)
- * [イベント・展示会ニュースとして、2015 年の C-star 展](#)
- * [Eurosho//JAPANSHOP 賞のウィナー・プロジェクト紹介](#)

を取り上げました。是非、最後までご拝読ください。

第 1 部：欧州の小売・卸売り業界のトレンド

トレンド：都市内はショッピングセンターが増加

ケルンにある欧州リテール研究所 (EHI) の調査によりますと、ショッピングセンターが建設される場所が変化しています。ドイツの統一の影響もあったと思われますが、1990 年代の前半は、ショッピングセンターの約 4 割が町の郊外に建てられ、その数が 2011 年～2013 年の期間までに 4%まで減りました。その代わりに、ショッピングセンターが町の中心部に作られる傾向が圧倒的に強くなりました。過去 2 年で、郊外に建設されたのは 4 件に対して、町の中心に開店したショッピングセンターは 76 件あります。やはり、町の魅力にショッピングが不可欠の要素と言えるようです。デュッセルドルフを事例にあげれば、市の中心部であるケーニヒスアレーの北に大変有名な建築家 D.リーベスキントがデザインしたショッピングモールができました。その中に入っている百貨店「Breuninger」は店舗デザインの分野で結構注目を集めています。次回のデュッセルドルフを訪問された際には、(買い物しながら)店舗デザインを視察されることをおすすめします。

出典：2014 年 7 月 9 日付け Handelsjournal 誌





写真の出典: www.breuning.de

トレンド: ネット販売: 止み難い前進

ドイツでは、(モバイルを含む)ネット販売が増加していること自体は、十分に報道されていますが、今後の発展状況についていろいろな調査もされています。「リテール・シナリオ 2020 年」と称する調査によりますと、店舗で達成される販売高が約 10%減少し、2020 年には 4050 億ユーロの規模になると見込まれています。それに対して、(純粋な)オンライン・リテールの規模が 2020 年までにほぼ 3 倍の規模に成長し、2020 年に 770 億ユーロに到達すると思われます。いうまでもなく、店舗販売とオンライン・リテールでは成長の傾向も逆ですし、成長率が違うことが否定できません。しかし、それぞれの売上高の規模を比較しますと、まだまだ店舗販売がリテール業界に君臨していると言えます。

もちろん、リテール業者にとって、販売チャンネルの多様化が不可欠な戦略です。それをサポートするソフトとアプリケーションがますます増加しています。最近話題になっているソフトは、Salesforce 社の販売促進プログラム「[Salesforce1](#)」(ユーザーには家電メーカーのフリプスが含まれるそうです)や(アマゾンのように、人気製品を紹介する)[Blue-zone](#) 社のアプリがあります。また、100%製品化されていないアプリですが、今年のユーロショップで紹介されたヴァーチャル・ショッピング・センター「Vector Shop」は、すべてのショッピングモールを 3D で表示することが出来ます。開発者は、デュッセルドルフ短期大学の 2 人の学生です!

最後になりますが、将来の発展について考えますと、それぞれの年齢層のインターネット利用を配慮しなければなりません。最近の調査によりますと、ドイツの若年層のうち、10 歳の



若者たちは、ほとんどネットを利用して、12歳の時点でスマホをもち、それをインターネットに接続するために(コンピューターよりも)利用しています。いうまでもなく、その世代は買い物もネット・モバイルでする可能性がますます高まると思われます。

出典: 2014年6月20日付け *Wirtschaftswoche* 誌、
2014年5月2日付け *Handelsjournal* 誌、2014年4月30日付け *LEAD digital* 誌、
2014年4月24日付け *Zeit* 誌、2014年4月7日付け *FAZ* 誌

トレンド: 通販会社が店舗設置

上に述べたマルチチャンネルの件に関連していますが、最近では既存の店舗を運営している企業が、ウェブショップを作ることも当然のことになりましたが、逆の動きも見られます。アマゾンの店舗についてまだ情報が入ってきませんが、アマゾンの競合相手として一番成長性が高いオンラインディーラー「Zalando」社 ([Euro リテール NEWS 2 号](#)参照)は、実際の店舗を開くことを戦略に加えしました。第一の店舗はベルリンで、第二の店舗はドイツ・金融業界の中心であるフランクフルトに開催されました。面積は約 1,000 m²で、多少「アウトレットストア」のイメージを持ち、ネットで販売できない製品をオファーしています。デザイン性も高く、雰囲氣的に町の中心にある店に負けない店舗です。アマゾンストアはいつ頃始めるのでしょうか。

出典: 2014年6月30日付け [www.euroshop.de](#) サイト、
2014年1月9日付け *FAZ* 誌

トレンド: 「サステナビリティ」: 環境配慮を超える定義

「サステナビリティ」は、よく「環境配慮」と同等視されますが、特に繊維産業においてその枠を超えて考える必要があります。労働者の労働条件(健康への危険の有無、労働時間、など)も視野に入れるべきではないか、と現在議論されています。きっかけは、昨年、バングラデシュで繊維工場の建物が倒壊して 500 人の死者を出した惨事です。ドイツの繊維リテール業者の何社かもバングラデシュで生産していて、火事があった工場と関わっていたので、リテール業者の責任(と、消費者の責任)が熱心に議論されていました。そのディスカッションを背景に、ドイツ経済協力開発相 G.ミューラー氏は今年の春にイニシアティブを発足させ、労働条件も環境保護も配慮する企業であることを表示するマークをの導入を提案しました。このようなマークをベースに、リテール業者も消費者も各自の責任において衣料を選択することができる、というアイデアです。

出典: 2014年4月7日付け *Handelsjournal* 誌、2013年5月3日付け *FOCUS* 誌

第 2 部 : 経済・企業情報

Sainsbury`s はデンマークの Netto と共同企業

ドイツ系の Aldi と Lidl の英国子会社と競合し、イギリスでマーケットシェアを拡大するために、大手 Sainsbury`s は、成長率の高いデンマークのディスカウント・ストア大手 Netto と提携し、合併会社を設立しました。両社は 1250 万ポンド(約 21 億円)を投資すると報



道されています。来年を目指して、イギリスで 15 カ所の店舗を開店する予定です。Netto 社は以前、単独でイギリスの市場で 14 年間活動したことがありましたが、2010 年に撤退しました。

出典：2014 年 6 月 20 日付け BBC NEWS

Tesco の人事ニュース

リテール大手マックス・アンド・スペンサー (M&S) の最高財務責任者であった A. スチュアート氏は M&S から Tesco に転職し、当社の同じ最高財務責任者として着任するそうです。この人事変更は、業界にとってかなりのサプライズだったと思われます：6 月 30 日付けのリリースに、M&S 社はスチュアート氏の責任分野を広げることを発表したばかりです…

出典：2014 年 7 月 10 日付け Finanznachrichten.de サイト・Retail Week 誌、
2014 年 6 月 30 日付け M&S リリース

サザビーズが eBay とパートナーシップ

オークションの歴史が長いサザビーズ社は、ネット・オークションでビジネスを始めた eBay 社とパートナーシップを組みました。今年の秋から、eBay 社はサザビーズがニューヨークで開催するパブリック・オークションをネットで公開することを計画しています。次の段階として、パリ、香港、ロンドンのオークションのリアルタイムで再生したりオンライン・セールス(ネット販売)も加えるとしています。

出典：2014 年 7 月 14 日付け Wall Street Journal 誌・Business Wire 誌

ドイツ METRO Cash & Carry 設立 50 周年

デュッセルドルフに本社がある、メトログループの「Metro Cash & Carry」社は、設立 50 周年を祝います。ドイツに 56 カ所の店舗を持つメトロ社が設立記念として、特別割引を実施することとともに、店舗でイベントを開催します。日本での店舗にも販売キャンペーン実施中。

出典：2014 年 4 月 23 日付け METRO 発行プレス・リリース

第 3 部：メッセ情報

EuroShop のコンセプトを来年に中国のリテール業界に適用



13-15 May 2015

China's International Trade Fair for
Solutions and Trends all about Retail
中国国际零售业设计与设备展
引领潮流的一站式解决方案
Shanghai, China



EuroShop がメッセのプロダクト・ファミリーを構成。それはなぜでしょうか。主な理由は中国のリテール業界の成長です。2015 年に中国は米国に次いで世界で 2 番目に大きな消費者市場になると予想されています。現在、世界中で建築中のショッピングセンターの半分が中国にあるため、市場のニーズが確実視されています。もう一つの理由は、現時点では、EuroShop のような展示会は中国にありません。しかし、アンケートに協力した 1,440 社



の EuroShop 出展者の半数以上は、中国で既にビジネス展開している、あるいは計画していると回答しています。これによりメッセ・デュッセルドルフは、2015 年 5 月 13 日～15 日に上海の国際展示センターで EuroShop のコンセプトを中国のリテール業界向けに適用し、C-star 展という名称で初開催します。同展は次の4つ分野から構成されます：1) 商店建築・商店装備、建築・デザイン・照明、冷蔵・冷凍装置、2) ビジュアルマーケティング、販売促進、POS マーケティング、3) 情報処理、安全・防犯装置、4) スタンド、デザイン、イベント企画。現在出展者を募集中です。すでに、300 社以上の企業が出展に興味があるとの意向を示しました。本日も弊社も日本企業と出展について折衝中です。詳細は、随時 EuroShop の日本語サイト <http://euroshop.messe-dus.co.jp> や新しいメッセの英語サイト <http://www.c-star-expo.com> で発表します。

EuroCIS – 国際リテール技術展(2015 年 2 月 24~26 日)



今年、EuroShop の一部として開催されたリテール技術展 EuroCIS は来年予定通り 2 月に開催されます。日本のリテール技術のレベルが非常に高いため、数多くの日系企業がそのメッセをビジネスの拡大に利用しています。日本のブランドは、エプソン、カシオ、サトー、シチズン、セイコウ、JCM(=日本金銭機械株式会社)、寺岡精工、東芝、パナソニックや富士通を含みます。言うまでもなく、IBM、HP、LG などの大手も参加します。最少面積は1小間 9 m²で、一番簡単なブース装飾込みの参加料金は約 43 万円から。このチャンスをお見逃しなくご利用ください！

Light & Building 展に、省エネが重要テーマ

3 月 30 日～4 月 4 日、フランクフルトで開催されました「Light & Building」展は、省エネが重要なテーマとなりました。2000 社を超える出展者と、約 21 万人の来場者という結果は、注目に値すると言っても言い過ぎないでしょう。

出典：2014 年 4 月 14 日付けメッセ・フランクフルト発行プレス・リリース、
2014 年 3 月 16 日付け Handelsjournal 誌

第 4 部 : Euroshop//JAPANSHOP 賞のウィナー・プロジェクト紹介



(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンと日本経済新聞社は、日本の優れたショップデザインをドイツや欧州に広く紹介し、相互のビジネス機会の拡大と

文化的交流に貢献することを目的とした表彰事業「EuroShop // JAPAN SHOP Award ~第 2 回ショップデザインアワード~」の受賞作品を決定しました。これから、一般部門優秀賞をご紹介します。

- 店名：北新地 鮭あずま
- カテゴリー：鮭 店
- 所在地：大阪府大阪市北区曾根崎新地 1-6-10/センチュリービル 1F
- 工事種別：内外装 全面改修



- クライアント名: 東 衛
- 施設規模: 67.60 m² (うち厨房 21.38 m²)
- 設計: STILE 大原宇貢
- 施工: 井田ホーム 井田次郎
- 協力: 照明計画 マックスレイ 永富裕幸
- 意匠照明 flame 神達兼一
- 椅子製作 八木コレクション 田野道夫
- 施設完成年月日: 2011 年 8 月 16 日
- 撮影: 松岡宏和



数寄屋の概念を基にした感覚的な空間
(建築家 大原宇貢より)

かつて西洋のように決められた様式のない日本において、建築、庭園、作法、音楽や哲学などばらばらに存在するさまざまな手法を数寄という非論理的な概念で統合することに成功した茶道という文化が生まれました。その目的は茶をたて、人が主題となるコミュニケーションを通じたおもてなしから生まれる美意識を楽しむことであり、数寄とはできる限り意匠や格式を排除しつつ人の所作(人のあらゆる動き)が主題となるよう質素で光も必要最小限に絞られた空間を、主人の好みで前近代的な背景でつり上げる建築様式です。この計画は、それらを工費を費やし現代に模擬するのではなく、数寄という概念を基にした感覚的な空間を構成しました。

基本は、現代の商業的な思考による壁の隅まで煌々と照らされたようなモノが対象である装飾的あるいは広告的な建築理念を思考から消し去り、黄土と黒漆喰、ラウンやシナベニヤなど私たち日本に住む方々が日常目にする控えめで質感ある素材を選定し、装飾を一切排除しながら陰翳と静謐をつくりだし、あくまでも人が主題となりもてなす際に生まれる美しさを料理人や配膳人、来客者全員が楽しめるような構成につくり上げています。

“吾唯知足”(ワレタダタルヲシル)

ゴージャスな空間、単一のアートといった概念を越え全ての環境とエンバイラメントさせる先人達の豊かな営みには、現代の浮世を蘇生させる生き生きとした営み方の要因が隠されているかもしれないと、多くの方々のコミュニケーションで溢れる「北新地 鮫あずま」を訪れたとき、私は思いました。

【Euro リテール NEWS】2014 年 3 号をお楽しみいただきましたでしょうか? ご意見やご希望



をお聞かせいただけましたら幸いです。よろしければ、お知り合いやビジネスパートナーにも転送してください。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集担当】A.メルケ【メッセ担当】A.メルケ

mdj@messe-dus.co.jp

<http://euroshop.messe-dus.co.jp> / <http://www.messe-dus.co.jp/>



【ご意見・ご感想等】この Euro リテール NEWS は皆様の声を反映させ、より良い紙面を目指しております。読みたい、知りたいテーマがございましたらお知らせ下さい。また、ご質問やご意見も随時お受けしておりますので、お気軽にどうぞ！

